

令和7年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

加古川市立志方中学校

1 教育目標

人の心がわかる あたたかみのある人づくり

2 基本方針

人権尊重の学校文化の構築と生徒・教職員のウェルビーイング向上をめざす

3 指導目標

- (1)「確かな学力」を培う (2)「健やかな体」を養う (3)「豊かな心」を育てる (4)適切な進路選択と継続した指導の充実
 (5)特別な支援や配慮を要する子どもへの教育の推進 (6)組織的な運営体制の確立 (7)教員の資質向上をはかる
 (8)学校・家庭・地域との連携の強化

達成状況の評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
学習指導の充実	主体的・対話的で深い学びの視点を持った授業への改善	B	相互参観を継続することで指導技術の共有を図るとともに、ICTの効果的な活用を含めた主体的・対話的で深い学びの具現化に向けた研究を深化させていく。そのために組織的な授業改善のプロセスを見直し、全教員が無理なく、かつ着実に指導力を高めていける体制づくりを推進する。	指導力向上に組織的に取り組まれている様子がよく分かりました。今後も生徒一人ひとりに向き合い、ICTを有効活用した主体的・対話的で深い学びの実現や、きめ細かな指導のさらなる充実に期待しています。	A
道徳教育の深化 人権教育の充実	いじめや不合理的を許さない心の育成	A	いじめや不合理的を「自分事」として捉え、深く思索できる授業実践を確立するため、計画的な校内研修を通じた教職員の指導力向上を推進する。また学校生活のあらゆる場面において、教職員が同じベクトルで指導することで、自他を尊重し「いじめを許さない」という温かい学校文化をさらに深めていく。	全ての教育活動において、道徳的感覚や人権感覚を養える取り組みを行っていることが分かりました。若手教員が増えている現状、題材の研究や研修など、引き続き指導力向上につなげてほしいです。	A
生徒指導の推進	内面的理解を基盤に、心にひびく指導と教育相談の充実	A	教職員間での迅速かつ密な情報共有を徹底することで、課題の早期発見・早期対応に努める。必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携を図る。こうした学校全体の組織的な対応により、一人ひとりの悩みや状況に応じた、心に響くきめ細やかな支援を継続的に実践していく。	生徒への言葉がけや傾聴を重視し、一人ひとりに寄り添う姿勢が感じられます。今後も、誰もが安心して相談できる教育相談体制の維持・強化に努めてください。	A
地域に開かれた 学校づくりの推進	学校運営協議会を中心とした、家庭・地域との連携の強化	A	学校の教育活動や生徒の姿を積極的に発信し、地域への「見える化」を推進することで、相互理解と信頼関係をより深めていく。また、家庭・地域・学校運営協議会との連携を図り、地域全体で生徒の成長を支える「地域ぐるみの学校運営体制」を引き続き拡充させていく。	家庭や地域、学校運営協議会との連携を深め、多様な意見を反映した「地域ぐるみの学校運営体制」の推進を継続してほしいです。学校側の積極的な情報発信による教育活動の「見える化」を行い、三者の絆がより強固なものとなることを期待しています。	A